

新基地建設反対名護共同センターニュース

辺野古新基地の設計変更は許さない！



「辺野古・大浦湾の美ら海に新たな基地を造らせない。世界一危険な普天間飛行場は一日も早く閉鎖・撤去すべきだ」とのアピールを採択し、新里米吉共同代表の音頭で「頑張ろう三唱」する集会参加者。



（通信…高田恵子さん）

土砂投入2年目 滋賀で連帯アピール
辺野古に土砂投入2年目にあたる14日、現地に連帯し滋賀県JR草津駅前で行われた抗議のアピール行動が行われ、25人が参加しました。SNSの呼びかけだけでしたが、手づくりプラスターでスタンディングする人やクリスマスソングの替え歌を歌う人などにぎやかな行動になりました。沖縄出身の女性は「滋賀からも沖縄の激戦地に派兵され命を落とした人もおられる。その戦没者の遺骨が混じった土砂を戦争のための基地づくりに使う、腹の底から怒りがわく。本土の人は冷たい」と思っていたが、思いを一緒にして行動してくる人たちがこんなにいとスピーチしました。

デニー知事「県民の反対は衰えてない」
集会では野党国会議員を代表し照屋寛徳衆院議員や県議会議長と党4会派代表が挨拶しました。平和市民連絡会の北上田毅氏が名護市長への要請行動など当面の課題を報告しました。集会後、「オール沖縄」の高里鈴代共同代表などが玉城デニー知事と面会、集会で決議された「アピール文」を手交し、設計変更を不承認とするよう要請しました。デニー知事は「多くの県民の反対の声は衰えていない」と強調しました。

「オール沖縄会議」は18日、那覇市の県民広場で防衛局の埋め立て設計変更承認申請を不承認とするよう玉城デニー知事を支える県民集会を開き250人が参加しました。主催者挨拶した稲嶺進前名護市長は「設計変更は絶対に許さない。沖縄県が意見照会をしていく渡具知名護市長は、市民の意見を聞く必要がないと民意に耳を貸さずとしない。1年後の名護市長選で市政を取り戻しましょう」と訴えました。

「オール沖縄」がデニー知事支える県民集会

北部訓練場は放射性物質のゴミ捨て場 矢ヶ崎氏がゲート前で解説



辺野古ゲート前テント村で17日、矢ヶ崎克馬琉球大学名誉教授が北部訓練場で放射性物質が発見された問題を告発しました。矢ヶ崎氏は、米軍使用の部品が投棄されていたことは「県民の水がめがある北部訓練場が、放射性物質の廃棄場になっている」と提起。放射性物質「コバルト60」は半減期が経過し人体に影響のないレベルの線量となっている、と言いつつも「米軍はルールを守っていない。彼らにとってはよその国かもしれないが、県民が現に生活しており、県民の水源地だ。北部訓練場の返還に当たって原状回復を求めない政府の姿勢も問題だ」と強調しました。テント村では約70人が耳を傾け、米軍と日本政府の対応に怒りを募らせていました。

名護市議会 設計変更への「異議はない」との市長意見を否決！

お知らせ

- 毎年、元旦恒例で辺野古の浜で行ってきた「初興し（はちうくし）」は、2021年はコロナ感染症予防のため中止です。
- 「オール沖縄会議」は、1月度の土曜日のゲート前県民大行動はコロナ感染症予防のため中止します。通常のゲート前座り込みは、1月4日から祭日を除く平日、感染症対策に留意し行います。
- 今年の共同センターニュースは今号が最終号です。ご愛読ありがとうございました。DVD購入およびカンパ、印刷機やカメラ、物品のご寄付にもお礼申し上げます。新年は1月7日付から発行予定です。皆さん、良いお年をお迎えください。



名護市役所前の緊急集会（21日）



名護市議会は21日の本会議で、沖縄防衛局による辺野古新基地建設の軟弱地盤改良に伴う設計変更申請にある埋め立て地用途変更について「異議はない」とした渡具知武豊市長の意見を、賛成12、反対13と野党の反対多数で否決しました。

市民の安全・環境保全の責任放棄だ
市長が作業ヤード用の辺野古地先の埋め立て取りやめ（用途変更）に「異議はない」とわずか3行の「意見」提案に、野党は軟弱地盤の設計変更による市民の安全や環境保全などに一切触れていないことは市長の責任放棄だと追及し、反対しました。

県民120人が緊急の抗議集会
同日の昼休みに名護市役所前にゲート前から移動した県民を含む120人が参加し緊急の抗議集会を開きました。集会では「市長は全市民の代表であり市民の暮らしや環境への影響を考え意見提出する責任がある」などの発言が相次ぎました。野党の名護市議や高良鉄美参院議員も発言しました。